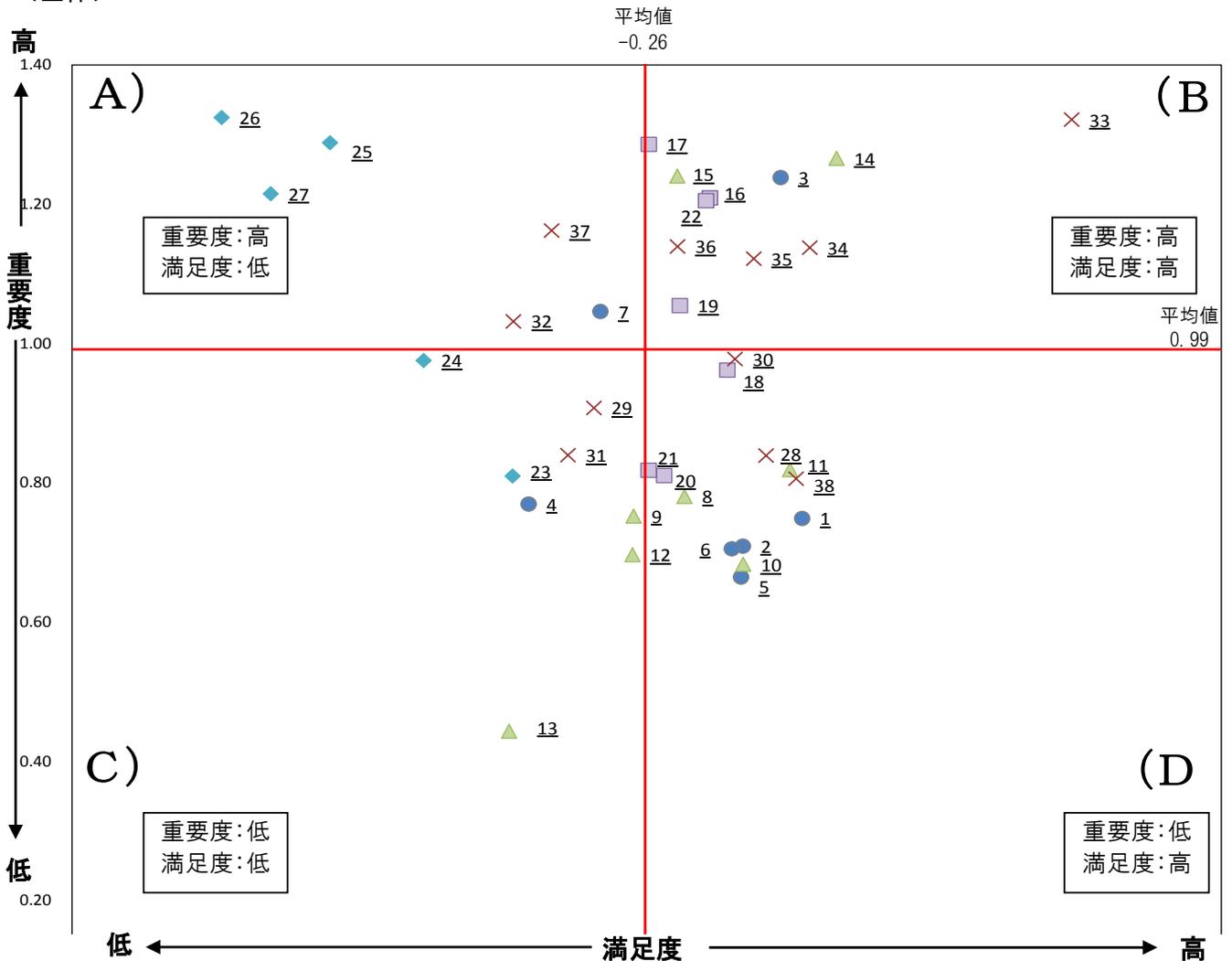


平成27年度 三原市事業レビュー 点検対象施策 選定基準

- 1 市民アンケートの分析で重要度が低い分野（C・D象限）から、委員の採点結果を集計し、上位5件程度を選定する。
- 2 上記のほか、委員の自由意見で抽出された施策を加える。
- 3 昨年度の点検対象は、除外する。

<全体>



	満足度が平均値より低い	満足度が平均値より高い
重要度が 平均値より高い	26 中心市街地活性化 25 企業進出・雇用確保 27 観光振興 37 地域公共交通 7 青少年健全育成 32 公共施設等のバリアフリー化	33 水道 17 高齢者福祉 14 消防・防犯・交通安全 15 防災対策 3 学校教育 16 子育て支援 22 地域医療 36 生活道路 34 下水道・浄化槽 35 幹線道路 19 障害者支援
重要度が 平均値より低い	24 商工業・サービス業 29 景観形成、市街地整備 31 公園・広場 23 農林水産業 4 大学を活かしたまちづくり 9 男女共同参画 12 市民協働 13 国際交流	30 ごみ減量化 18 健康づくり 28 自然環境・環境保全 11 市政情報の公開・提供 21 地域福祉活動 20 低所得者福祉 38 情報通信基盤 8 人権尊重 1 生涯学習 2 生涯スポーツ 6 文化財・伝統文化 10 コミュニティ活動 5 芸術・文化

※網掛けの項目は平成26年度事業レビューで点検対象となった分野

※CSポートフォリオ分析の算出方法について

左のグラフは、満足度と重要度を相対的にどのように判断しているか比較しやすくするため、加重平均値（満足度・重要度平均）により算出している。

《現在の満足度、重要度》		
回答肢		点数
①満足	①重要である	+2
②やや満足	②やや重要である	+1
③ふつう	③ふつう	0
④やや不満	④あまり重要ではない	-1
⑤不満	⑤重要ではない	-2
⑥無回答（不明）	⑥無回答（不明）	除外

【算出方法】

(①の回答数×+2点)+(②の回答数×+1点)+
 (③の回答数×0点)+(④の回答数×-1点)+
 (⑤の回答数×-2点)

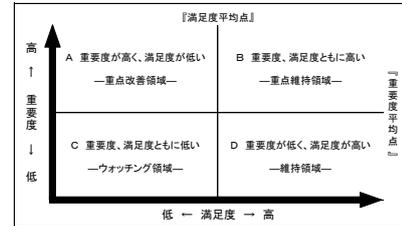
加重平均値＝
 (回答総数)÷(「無回答」の人数)

※満足度と重要度の相関図について

左のグラフは、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、各取組の加重平均値を算出し、AからDの4つの性格を持つ領域に整理区分し、満足度と重要度の相関関係を表したものである。なお、重要度の加重平均値は、満足度の加重平均値と同じ方法で算出している。

【相関図の見方】

図の上側に位置する項目は重要度が高く、右側は満足度が高いことを示している。逆に、下側は重要度が低く、左側は満足度が低いことを示している。



【凡例】

凡例	No	分野	項目
●	1	教育・文化	市民が生涯学習活動に取り組む機会と場がある
	2		市民がスポーツ・レクリエーションを行う機会と場がある
	3		幼稚園、小・中学校に通う子どもたちが安全で快適な教育環境のもと、適切な教育を受けている
	4		大学を活かしたまちづくり・地域づくりが行われている
	5		市民が芸術・文化に親しんだり、活動に取り組む機会と場がある
	6		伝統文化や文化財の保護・継承が行われている
	7		地域の中で、青少年が健全に育成される環境が整っている
▲	8	暮らし・安全・人権	人権に対する意識が高まり、お互いに尊重し合う社会になっている
	9		男女が互いの違いを認め合い、個性と能力を十分に発揮し、社会の様々な分野に共に参画できる社会になっている
	10		自治会や町内会などが活発に活動し、地域のコミュニティ活動が充実している
	11		市政の現状や市からの広報、イベントなどの情報が分かりやすく提供されている
	12		市民、企業、ボランティア・NPO法人などが互いに協力しあい、市民協働のまちづくりが行われている
	13		地域に暮らす外国人や、海外との交流など、国際交流ができる機会が充実している
	14		消防・防犯・交通安全などの生活安全対策が充実し、安心して住むことができる
	15		防災のための施設や情報、活動体制が充実している
■	16	健康・福祉	保育環境や子育て支援などが充実し、安心して子どもを育てることができる
	17		高齢者福祉が充実し、安心して暮らすことができる
	18		市民が健康に関心を持ち、健康づくりに取り組むための行政サービスを受けることができる
	19		障害者が支援サービスなどを利用しながら住み慣れた地域で安心して暮らすことができる
	20		生活に困窮している市民が自立した生活に向けた支援を受けることができる
	21		市民同士の助け合いや交流が活発に行われ、地域福祉活動が充実している
	22		地域で安心して医療サービスを受けられる環境になっている
◆	23	産業	農林水産業に活力があり、振興が図られている
	24		商工業・サービス業に活力があり、振興が図られている
	25		新たな企業の進出などにより、雇用の場が確保されている
	26		中心市街地（JR三原駅を中心とした地域）に活力があり、振興が図られている
	27		観光のまちづくりが行われ、観光地としての魅力の向上や“おもてなし”などが充実している
×	28	環境・基盤整備	自然と触れ合える環境が保たれている
	29		美しい景観の形成や、市街地の整備など、まちなみが整備されている
	30		市民や企業がごみの減量やリサイクルに取り組む環境が整っている
	31		身近に親しむことができる公園や広場が整備されている
	32		公共施設や道路などがバリアフリー化され、誰もが利用しやすい環境が整っている
	33		安心して飲むことができる水道がある
	34		下水道や浄化槽などが整備され、快適な生活環境が整っている
	35		バイパスや国道など主要な幹線道路が整備され、安全・快適に道路を利用できる
	36		身近な生活道路の整備が整備され、安全・快適に道路を利用できる
	37		JRやバス、航路など、生活に必要な交通手段が充実し、利用しやすい環境が整っている
	38		自宅や会社等で、高速インターネット回線が利用できるなど、情報通信基盤が整備されている

【出典】三原市長期総合計画「みはら元気創造プラン」(H27.3月策定)